

第IX章 疾病救急医学

本書では、出題年ごとではなく、12の分野&131の大項目に分類しました。これにより、弱点を克服したい分野・項目を重点的に学習できます。

◀● 出題傾向と対策 ●▶

出題数は全分野中、最も多く、毎年の平均出題数は30問（20%）に達する。ただし、従来の国試で頻出した呼吸系・循環系の個々の疾患についての専門的な知識を問う問題は激減した。

- 最近やや減少したものの、出題数が多い（毎年3～4問）のは、各種感染症を中心とした小児特有の疾患であり、出題の範囲も広い。……

- 過去問の出題比率などを分野・項目ごとに精細に分析することにより学習の目的が明確になり、国試直前での整理とまとめに活用できます。

設問番号	正答番号	出題年次と問題番号	必修問題・頻出問題であるときに表記
解説 【499】	3	第36回 A-67	参照頁：790
分野と大項目	IX-5. 泌尿・生殖系疾患	小項目	着色尿

『改訂第9版 救急救命士標準テキスト』の参照頁

写真は、病院での蓄尿システムに貯留した赤褐色尿と思われるが、血尿の可能性もある。このような着色尿は、赤褐色が強ければミオグロビン……

3. 気道熱傷（単独）では血管内溶血はみられず、血尿もない。

4. 溶血性貧血では、アレルギー機序（p.184 II型アレルギー）により血管内溶血の結果、ヘモグロビン尿（赤色尿）となる。ヘモグロビン尿……

▶ 悪性症候群は、精神科通院の傷病者で、向精神薬の内服や中断により発症し、高熱と筋強剛、意識障害などをきたす（p.924, p.1066）。国試……

注意点・補足など

設問選択肢番号

設問の前提となる知識を解説！

選択肢ごとのポイントを解説！

正答への考え方をわかりやすく解説しています。